

１ 社会・治安情勢

５月２５日に、ベネズエラ全土で国会議員・州知事・州議会議員選挙が行われましたが、与野党共に大規模な選挙キャンペーンはほとんど行われませんでした。そのため、多数の参加者を伴う集会や抗議デモも発生せず、大きな衝突は発生しませんでした。その後も、大規模な集会やデモは発生しておらず、比較的落ち着いていますが、政治的緊張は継続していますので、引き続き注意が必要です。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１） 全般

当地治安当局によれば、２０２５年４月～６月の全国の犯罪発生認知総件数は前年同期比で約５％減少しました。全国的に犯罪の認知件数は減少傾向にありますが、カラカス首都圏での窃盗と詐欺事件は昨年比で増加しました。経済状況の不安定さやインフレの進行による生活困窮が犯行の動機につながっているものと考えられます。

（２） 各論

同当局によれば、偽のホームページから個人情報や口座情報を抜き取るフィッシングサイトによる被害が増加しています。また、SNS上で極端に安い商品を掲載し、それを信じた被害者に架空の商品等売りつける詐欺事件も増加しています。こうした商品の売買を発端としたトラブルにより強盗や殺人事件に発展するケースもあります。被害に遭わないためにSNSでの情報を鵜呑みにせず、信頼のおけるショッピングサイト等を利用するなどして、被害に遭わないように注意してください。

（３） 邦人等の被害事案

なし。

３ 薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、今年１月からコロンビアとの国境地帯において展開されている「カタトゥンボ電撃作戦」と呼ばれる治安維持活動により、数十トン単位の違法薬物が押収されたとのことです。これら犯罪組織との繋がりがあったとして、スリア州の自治体の市長や警察幹部が逮捕されたとの報道があります。当局の発表ではさらなる関係者の捜査にも及んでいるとの情報もあり、現在もこの作戦は継続しています。軍と犯罪組織との衝突が懸念されるため、こうした地域へはいかなる目的であっても近づかないようにしてください。

４ 誘拐・強盗事件発生状況

統計上、４月から６月の間に３件の誘拐事件が発生しました。報道によれば、身代金に暗号資産を要求されるなど、犯行手口が巧妙化しています。強盗事件についてはカラカス首都圏の比較的安全とされている地域でも発生しており、犯行には複数人が関与し、脅迫の際に凶器や拳銃が使用されるケースもあります。発生時間帯も夜間や深夜だけでなく、昼間帯での発生もあります。外出の際は、目的地までの経路や交通手段を十分に検討し、安全といわれている地域でも周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。